

ご存じですか？

ジェネリック医薬品

上手に選んで薬代を節約



ジェネリック医薬品とは？

お医者さんで処方してもらった薬には同じ成分・同じ効き目で高い薬と安い薬があるのをご存じでしたか？

高い方の薬は「新薬」。新薬とは、医薬品メーカーが初めて作る薬のことで、先発医薬品ともいいます。新薬の開発には10年以上の年月と数百億円のコストがかかるため、薬価が高く設定されます。

もう一つは、「ジェネリック医薬品」。新薬の特許期間満了後に厚生労働省の承認を得て発売される薬の総称で「後発医薬品」ともいいます。

新薬に比べて大幅な開発コスト削減と開発期間の短縮が可能のため、新薬と同じ成分・同じ効き目でありながら、その価格は3から7割も安価になります。

薬の効き目は？

医薬品には、有効性・安全性を確保するために、薬事法によってさま

ざまな規制が定められており、新薬もジェネリック医薬品も全く同様の規制を守って開発、製造、販売されています。

また、新薬の特許期間が満了するまでの間、その薬は多くの患者さんに使用され、有効性のみならず安全性の定期報告もしっかりとされています。従って、ジェネリック医薬品の有効成分についても、安全性が証明されています。

ジェネリック医薬品に興味を持ったなら

ジェネリック医薬品に替えられるか、まずは医師に相談してください。処方せんに医師の署名がなければ新薬でもジェネリック医薬品でもどちらでも選ぶことができます。処方せんをもらった後、かかりつけ薬局で価格や効果、副作用などジェネリック医薬品と新薬との違いや特徴などについて納得がいくまで薬

剤師にご相談ください。

いきなりジェネリック医薬品に切り替えるのは不安という方は、まず「お試し調剤」で、短期間試してみたり、複数服用の場合は二つずつ替えてみるという方法もあります。

※分割調剤を希望する場合、別途、「後発医薬品分割調剤料」が料金に上乗せされます。

ジェネリック医薬品がない薬もあります

ジェネリック医薬品は、新薬の特許が切れてから発売されるため、全ての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。また、中にはジェネリック医薬品に変更できない薬や、ジェネリック医薬品を取り扱っていない薬局などもありますので、その際は、かかりつけのお医者さん、薬剤師さんに相談し、意見もしっかり聞きましょう。

医療費適正化にも貢献

ジェネリック医薬品を使用することで、患者さんの薬代の負担が減り、家庭での医療費の節約に役立ちます。

また慢性疾患では、薬代が高いからといって、通院や薬の服用をやめてしまう人も少なくありません。しかし、薬は飲み続けることが大切で、正しい治療を無理なく続けられる環境が整います。ひいては高騰する医療費の抑制にもつながります。ぜひ、ジェネリック医薬品を上手に活用しましょう。

問合せ先 役場 保険医療課

内線170

